

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	姫路医療生活協同組合	事業所名	看護小規模多機能てがら
所在地	(〒 670 - 0974) 姫路市飯田 472-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

『住み慣れた地域でその人らしく過ごす事ができるよう医療と介護の両面をサポートします』と理念に掲げています。
『通い』『泊り』『訪問看護』『訪問介護』の機能を組み合わせ、多職種（介護職・看護師・リハ職・管理栄養士）が連携を取り合い、その人の強みを引き出す、その人にとっての自立を見出し引き出す、何事に関しても諦めない事業所を目指しています。
また地域の相談窓口として地域との関わりを深めるために地域の防災訓練等に参加し、協働できるよう努めています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 1 月 24 日	従業者等自己評価 実施人数	(17) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 3 月 19 日	出席人数 (合計)	(9) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (2) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 () 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (2) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (3) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 () 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 () 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (2) 人 <input type="checkbox"/> その他 () 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・理念について朝の申送りだけでなく部会等で確認する。 ・災害時の避難先(姫路ウイング体育館)の管理者への連携依頼。 ・飯田自治会だけでなく中地自治会への挨拶 ・毎年行われる飯田自治会の防災訓練に参加させて頂く。 ・年2回だけでなく、部会で夜間想定避難訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の部会で確認している。 ・姫路市に確認し、避難準備の段階で前以て連絡をすれば体育館は開錠頂ける。その際は毛布や必要な物は持参するようにお聞きした。 ・出来ていない。 ・11月24日に地域の防災訓練に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念は確認できている。 ・夜間想定ができていない。 ・地域での防災訓練に毎回参加できていない。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)		
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)		
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへ		<ul style="list-style-type: none"> ・各ご利用者様のお住いの地域包括や民生委員と連携を取るようにした。現在も

	の参画(評価項目 32~41)		まだ関わりが持っていないご利用者様については継続して実施していく。	の方々にもできる範囲で協力支援をお願いしている。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)				無回答が多い。異動してきた職員もあり、内容を理解しきれていない可能性がある。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)		<ul style="list-style-type: none"> 法人の理念も周知できているか。 アンピス導入で職員の安否確認はとれるようになった。 夜間の職員が少ない時間帯での防災訓練で夜間想定ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> 法人理念についても部会等で職員に確認していく。 夜間想定 of 訓練を部会で実施(センターの避難訓練月に合わせて) 地域の防災訓練に参加させて頂く(昨年度参加させて頂いた職員と違う職員で)
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)	全職員の風通しが良くなっており、都度都度で意見を出し、医療介護の連携が取れている反面、介護職から看護師へ意見を言いにくいと感じている職員がいることが課題。	<ul style="list-style-type: none"> 管理者が職員の状況を見ながら各職員に声をかけていく。 介護職で意見を言いにくいと感じている職員については管理者より看護師へ伝えるようにする。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28)		

	～31)		
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	ふれあいサロンで地域住民へ『看多機とは?』の勉強会を開催した。 病院で、病院職員に向けて『看多機とは?在宅支援について』の勉強会を開催させて頂いた。 普段、自分たちがしている介護の仕事が包括ケアシステムに繋がっていることに結びついていない。	引き続き、看多機の普及を地域住民に行っていく。 各ご利用者様の地域の包括支援センターとも連携を深めていく。 職員へ包括ケアシステムに繋がっていることを毎月部会で周知していく。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		無回答が多い。 異動してきた職員もおり、内容を理解しきれていないのではな いか。	無回答職員には、次年度に向けて内容を説明しながら、日々の 取り組みがいろんなことに繋がっていることを部会で周知し ていく。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「① 医療ニーズの高い利用者の 在宅生活の継続支援」、「②	9	6	2		看多機の、具体的支援策を聞き、思った以上に個別で自立支援の視点を持った取り組み	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
	在宅での看取りの支援」、 「③生活機能の維持回復」、 「④家族の負担軽減」、 「⑤地域包括ケアへの貢献」を 含む、独自の理念等を掲げ ている	<p>○医療的ケアの必要な方、看取りの方を積極的に受け入れている。家族の介護力や状況を見ながら支援している。</p> <p>○毎朝、理念の唱和で理念の確認をしている。</p> <p>○医療ニーズの高い方の在宅生活の支援や看取りの支援が出来ている。</p> <p>○栄養改善加算で理念をもとに取り組んでいる。</p> <p>○事業所・法人理念・『生協 10 の基本ケア』に基づいた支援を行っている。</p> <p>○事業所理念に掲げている。</p> <p>○在宅に帰れないご利用者様だったり施設での看取り期を送るご利用者様もいた。</p>				みをしていると感じた。	<p>げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	7	10			<p>地域包括ケアへの貢献については、日々の業務の中で実施しているが、地域包括ケアシステムの中で看多機の位置づけがわかっていないのではいか。地域包括ケアシステムについての学びの機会があればよいのでは</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		<p>○意識の向上に繋がっている。</p> <p>○サービスの特徴・事業所の理念に沿ったケアを実施している。</p> <p>○毎朝、事業所理念を唱和している。</p> <p>○事業所内に理念を提示してあり理解できている。</p> <p>○看多機の内容について理解に努めている。</p> <p>○医療が必要なご利用者様も受け入れ、吸引が必要な場合は行えている。</p>					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	4	9	2	2	<p>適切な業務分担で個々の資質や能力・モチベーションを引き上げ、上手にリーダー的な役割を担える職員を育てられている。</p>	<p>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</p> <p>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</p> <p>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○日々の申し送りや部会で情報共有し支援内容の確認している。</p> <p>○わからない事、出来ていない事を聞き指導できている。</p> <p>○新人チェックリストに沿って教育をされている。</p> <p>○毎年管理者と面談し各自目標計画を記入している。</p> <p>○管理者・リーダーが中心となり継続し</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>て実践されている。</p> <p>○キャリアパス制度を設けている。</p> <p>○毎月研修が設けられている。</p> <p>○新しい人員も増え、どういふふうで育成していくか話し合いができています。</p>					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	11	3	2	1	<p>多忙な中でも、資格習得に努めている。</p>	<p>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○外部研修にも参加出来ている。</p> <p>○認知症実践者研修等への参加も積極的に行えている。</p> <p>○実務者研修受講し修了した。</p> <p>○外部講師の方より研修を受けた。</p> <p>○喀痰吸引受講し修了した。</p> <p>○日本在宅栄養管理学会に登録し在宅訪問管理栄養士の資格を維持できるよう研修受講している。</p> <p>○認知症実践者研修に参加し、認知症に関する知識やスキルを身に付けている。</p> <p>○法人外の研修・資格取得等についても法人から支援を受けられる。</p> <p>○医療行為の専門技術やリーダー育成等の研修の機会を確保している。</p>					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	12	3	2		<p>誰もが意見を出しやすい環境にあるのがわかる。</p>	<p>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○申し送り内容各職員が把握し意見を出し合い適切な支援が出来ている。</p> <p>○部会・勉強会で改めて知る情報や忘れてた知識を再確認する機会が設けられている。情報共有は適宜出来ている。</p> <p>○日々話し合いが出来ている。</p> <p>○毎朝の申し送りに加え、困難事例ではカンファレンスを実施している。</p> <p>○常日頃から情報共有できるよう心掛け3か月に1度栄養ミーティングを開催セッティングしている。</p> <p>○話しやすい環境ではあると思う。</p> <p>○毎日の申し送り・月1回の部会が行われている。</p> <p>○申し送り時に情報共有されて都度必要な話し合いを定期的なカンファレンスが開催されている。</p> <p>○以前まではカンファレンスを行い、情報を共有するが、現在は少なくなっている。</p>					
(3) 組織体制の構築							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	5	7	1	2	運営推進会議に、全職員が参加できていないので、参加したことのない職員にはわかりにくいのではないかと。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ○管理者を通して職員への伝達あり。ご利用者様や地域に還元できるよう取り組んでいる。 ○運営推進会議での助言等を反映できている（会議への参加もした） ○運営推進会議への参加で頂いた助言を職員へ反映させた。 ○助言を頂き、より良い関係を築けている。 ○よくわからない。 ○すべての要望には反映できていない。 無回答2					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	9	6		1	少ない人員で頑張っているが、事故を防ぐ為にも人員の補充は必須。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のため
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ○職員のキャリアアップの為に必要研修の参加を促し意識を高められてい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>る。</p> <p>○色んな時間帯で働くことができています。</p> <p>○定期的な面談、上司への相談しやすい環境が出来ている。</p> <p>○安心して働けるように職員によって労働時間への配慮がされている。</p> <p>○自由に意見を出し合える環境で働けている。</p> <p>○アクシデント・インシデントが起こっても前向きにフォローし合っている。</p> <p>○人員不足で休日確保しにくい。</p> <p>○残業せざるを得ない日がある。</p> <p>○協力しながら仕事で来ている。</p> <p>○助け合いが出来ていると思う。</p> <p>○就業環境について相談できる環境が整っており、安心して働くことができています。</p> <p>○パートで小さい子供がいる中、時短勤務で仕事しているので部会に出るのは難しい。リモートか昼間にしてほしい。</p> <p>○メンターに個別に相談できる。</p> <p>○労働時間への配慮や休みが整っている。</p> <p>○職員同士でコミュニケーションをとり、働きやすい環境を作れている。</p> <p>無回答 1</p>					<p>の支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	8	7			勤務日数の少ない職員は情報収集にも苦勞されている	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ○ケアの変更点や伝達事項は朝の申し送りで共有し日報でもスタッフ全体に周知・共有している。 ○日報は各自読み込む必要があり、全員が進んで情報を得る努力をする必要がある。 ○朝礼・管理日誌・部会を通して共有出来ている。 ○毎日の申し送りと管理日誌への記載で情報を更新している。 ○情報は迅速に更新・共有出来ているときもあればご有無に追われ出来ない時もある。 ○見聞きした情報はコミュニケーションをとり共有出来ている。 無回答 2					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	7	7	2		忘れものの報告が多い。 指さし確認の習慣付けをしたほうが良いのではないかと。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ○医療介護安全委員会の開催 ○A I Tレポートの提出で意見の共有し業務改善に繋げている。 ○A I Tレポートの提出と各自意見を記入し予防に取り組んでいる。 ○安全第一で歩行介助や行動について考えている。 ○インシデント報告書にて事故の情報と対策を確認することができている。 ○アクシデント・インシデントについてはすぐに報告書が作られ対策されている。 ○内服に関して個別に分けられ、氏名・日付をWチェックし内服していただいている（予防） ○個人情報等は徹底して守られていると					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>思う。 無回答 1</p>					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	<p>○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている</p>	11	5	1		<p>今年度は地域の防災訓練に参加することができた。 毎年、9/1 に飯田地区の訓練がある（消火栓の確認とAEDの使い方、地震の際の対策についての講義）参加出来ればしても良いと思う。 校区の防災訓練については毎年開催ではないため、来年度またあるかは不明。開催時には参加して良い。</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容] ○BCP対策の研修を事業所内で行い、職員への意識付けがなされている。 ○災害・感染ともにBCPを確認し部会でデモンストレーションしている。 ○職員同士での安否確認ができるよう対応されている（ANPIS、緊急連絡網、LINEグループ） ○地域の防災訓練に参加している。 ○定期的に防災訓練を行い、災害マニュアルを整備している。 ○BCPマニュアル・ANPISを通して共有されている。 ○夜間の災害・火災があった際、どのように対応するか知りたい。例えば酸素をしている方はどうするか等。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>○BCPに基づいて訓練が行われている。</p> <p>○連絡先リストの作成・アンピスでの安否確認。</p> <p>○BCPの防災グッズ等用意して災害時の備えとして用意している。</p>					
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	6	9			<p>モニタリングを各担当制にしたことで、現場を一番知っているスタッフから聞き取りもできており、情報収集がうまくできている。</p>	<p>✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</p> <p>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○訪問・通い・宿泊の様子観察で変化等の気づきを共有出来ている。</p> <p>○日中のみならず夜間の状況も多職種でアセスメントし共有出来ている。</p> <p>○日々、ご利用者様やご家族様とコミュニケーションを図り情報を得ている。</p> <p>○CMの聞き取りやヘルパー時に確認し、24時間の暮らし全体を見ることができている。</p> <p>○在宅時の緊急対応があり看護・介護の連携により実施できている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>○寿（電子カルテ）の支援経過より状況を把握することができ、アセスメントを実施している。</p> <p>○CMが情報共有・家族へのアセスメントを行い、プランを作成している。</p> <p>○送迎時にご家族様とコミュニケーションをとり在宅での様子を聞き取って情報共有している。</p> <p>無回答 2</p>					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	10	5	2		<p>毎回、カンファレンスを開催しなくても都度都度で声に出すことができる。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</p>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	4	12		1		<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○本人・家族の意向確認は必ず行いそれぞれの意向を尊重できるよう計画している。</p> <p>○本人・家族の意見を受け止め対応している。が両意見に相違があり困ることもある。</p> <p>○ケアプラン作成により出来ている。</p> <p>○栄養アセスメント・栄養改善加算にて計画書を作成している。</p> <p>○ご利用者様の計画内容が分かっていない。</p> <p>○利用者・家族の意向を聞き対応している。</p> <p>○ご家族様の要望を施設で試し、その結果をお知らせできなかった場合は別の方法で提案等出来ている。</p>					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成され	6	9	1	1	<p>生活場面においての日常生活動作がリハビリに繋がっているのがわかる。</p>	<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○PT・OT・ST・看護師・介護職によるリハを実施し生活の質を上げる取組</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ている	<p>み計画を行っている。</p> <p>○歩行器や手引き歩行が難しくなってきたり方への対応検討している。</p> <p>○日常生活動作を中心にご利用様にできる事を活かせるケアプランになっている。</p> <p>○ケアプランの中に機能訓練等が入っており実践している。</p> <p>○ご利用様と話し合いを持ち目標に向かって行えている。</p> <p>○ご利用様の心身機能をリハ職員とも評価している。維持・向上を目指し計画立案できている。</p> <p>○残存機能を引き出せるよう個別モニタリング実施。できない事をできるようにだけでなく、できるのにしていない事にも目を向けている。</p> <p>○栄養アセスメント・栄養改善加算にて計画作成している。</p> <p>○知らない。</p> <p>○体操・歩行訓練等、機能維持リハをされている方もいらっしゃる。</p> <p>○必要に応じてセラピストが介入し個別のプログラムを作成している。</p>					<p>する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		○自立支援を目指した介護をしていかな いといけない。					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の 予測と、リスク管理を踏ま えた計画が作成されている	6	9	1	1	介護職から看護に対して意 見がしにくいと感じている 職員がいることが課題。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管 理」の2つの視点から、充足度を 評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される 看護小規模多機能型居宅介護に おいては、特に看護職による予後 予測などを踏まえて計画を作成 することが重要です
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○介護からは転倒転落のリスク、看護か らは病状変化のリスク等、双方の視点か ら共有し対策協議が出来ている。</p> <p>○主治医とも密に情報共有し状態変化の リスクのあるご利用者様の対応をしてい る。</p> <p>○状況変化のリスク・予測は管理者・C M・看護師が家族や主治医に電話やメー ル（MCS）で伝えている。</p> <p>○リスクマネジメントの勉強会を実施し 日常からリスクを考えられるようにして いる。</p> <p>○栄養アセスメント・栄養改善加算を通 して計画作成している。</p> <p>○知らない。</p> <p>○食事での飲み込み等の評価をされてい る。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		○看護・介護が一体化になれているとは思わない。					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	9	8			もっとも身近で接する介護職が、貴重な情報を吸い上げられている。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ○利用計画をもとに支援を行い、日々のご利用者様の様子をいち早く共有し対応する調整をしている。 ○変化がかなり急な場合が多いのでなかなか早期の対応をとれない。それでも最速で対応できるよう共有は行えている。 ○ご利用者さまのこまめな観察で対応できていると思う。 ○CMがモニタリングを吸い上げ看護師や介護職へ申し送りをしている。 ○カルテの支援経過に上がっており、必ず目を通すようにしている。 ○ご利用者様の状態に応じケアプランや看護計画を修正しご利用者様・ご家族様に同意を得ている。 ○モニタリングを各担当制にすることでご利用者様の状況等早い段階での気づき					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>に繋がっている。</p> <p>○3 か月に 1 回栄養アセスメント実施している。</p> <p>○体調の悪化・改善された場合、早期に把握し計画に反映されている。</p> <p>○状況変化はすぐに管理者・CMに報告されプランに反映されている。</p> <p>○利用者の状態に応じた支援ができています。</p>					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	5	10	2		<p>通い・宿泊の定員に上限がある中で、利用者・家族にも在宅意識をもってもらう必要があるのではないか。</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○定期の自宅訪問でご家族様の状況や以降を把握し在宅介護への協力を依頼している。</p> <p>○在宅支援をする中でご利用者様の状態や介護状況をみながらプランを組んでいる。</p> <p>○管理者・CMがご利用者様やご家族様から自宅での状態を聞き取っている。</p> <p>○勤務によって覚える事の出来ない家もあるができるだけ訪問している。</p> <p>○独居や生活状況により泊りや通いが多</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		<p>くなってしまうご利用者様もあるが、定期的に訪問を入れることで在宅での生活状況を知るようにしている。</p> <p>○栄養改善加算さん提示は月1回居宅訪問している。</p> <p>○在宅日を作るよう努めている。</p> <p>○訪問により生活状況の変化の把握をされていると思う。</p> <p>○どうしても変更できない時は依頼するご利用者様に片寄がある。</p>					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	10	6	1		<p>日頃から連携がとれ、緊急時迅速な対応をしてもらえる主治医がいるのは心強い。</p>	<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○主治医による定期的な訪問診療が計画されており、臨時往診にも対応している。</p> <p>○多職種との情報共有は出来ている。</p> <p>○往診時は看護師が同席し、内容は介護職へも申し送りしている。</p> <p>○経過支援に上がっており朝の申し送りでも共有出来ている。</p> <p>○主治医・薬剤師等、看護・介護だけでなく多職種で情報共有出来ている。</p> <p>○MC Sの活用で迅速な情報共有ができ</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>ている。MCSのない主治医に関しては電話やFAXをとして情報共有している。</p> <p>○栄養アセスメントで実施している。</p> <p>○必要に応じて主治医と連絡を取り指示を仰いでいる。</p> <p>○看護を通して情報共有・報告している。</p>					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	11	5	1		<p>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</p>	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>○看護・介護双方がそれぞれの専門性を理解し強みを活かしている。</p> <p>○看護・介護双方密に連携しサービス提供している。</p> <p>○役割分担はしっかりと出来ているが自分ができるいないところがあると思っている。</p> <p>○協力・協働で来ていると思う。</p> <p>○介護職でできない事は看護師に指示をもらい対応できている。</p> <p>○看護師からの声かけもあり介護職でもできる医療的ケアもいろいろ介入で来て</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>いる。</p> <p>○ご利用者の必要に応じた専門職の介入が計画されている。</p> <p>○栄養アセスメントで実施している。</p> <p>○状況に応じ協働・分業を行っている。</p> <p>○医療に重点を置くご利用者様には看護職の対応がされている。</p> <p>○お互いはカバーし合いながら利用者に沿った支援がされている。</p>					
20	○利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	7	10				<p>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</p>
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている						<p>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>して介入していけばよいか明確にしている。</p> <p>○看護師から介護職へ体調の変化や病状の予後・予測も含め情報共有出来ている。</p> <p>○申し送り時に出来ている。</p> <p>○看護・介護職員間で『このほうが良いのでは?』という意見や案が飛び交い共有出来ている。</p> <p>○個人的に看護師へ質問する、部会での共有、変化を知ることができている。</p> <p>○栄養アセスメントにて実施している。</p> <p>○看護が行うリハを介護が行うことでどういうリハが効果的かを学べている。</p>					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	6	10	1		<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○利用開始前には管理者・CMより説明がある。</p> <p>○ご家族様から質問があった際には自分なりの言葉で分かりやすく説明している。</p> <p>○管理者・CMより説明がされており理</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		<p>解頂けている。</p> <p>○新規相談や利用開始時には管理者・CMが説明している。</p> <p>○ご利用者様から訴え等あれば都度報告し解決するようにしている。</p> <p>○利用開始時にあたってはパンフレットを用いて看多機の特徴・料金を説明している。</p> <p>○相談の段階から説明し、契約時にも説明しているが、すべての方に理解を得られているとは言えない。</p> <p>○栄養のことに関してはアンケートで情報収集・発信している。</p> <p>○契約時に説明を行っている。</p> <p>○CM等わかりやすく説明されている。</p> <p>○サービスの説明は行えているが、理解をされていないと思うことがたまにある</p>					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	11	1			<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○説明し理解が得られるよう努めている。全てのご利用者様・ご家族様に理解を得られているとは言えない。</p>				<p>全ての利用者・家族に理解を得れているとは言えないが、まず全職員が理解し説明できるようになればよい。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>○丁寧な説明を心がけ同意を得ていると思う。</p> <p>○CMより説明はされているが納得されない事もある。</p> <p>○ご利用者様より『ここに何をしに来ているのか』等の発言があった際うまく説明し気持ちの面を支えている。</p> <p>○更新や状況変化があった時等、その都度話し合いプランについて説明できる。</p> <p>○栄養アセスメント結果を配布している。</p> <p>○CMが作成した計画書を説明している。</p> <p>○どうしても施設で見てほしいと言われることが多くなっている。</p> <p>無回答 4</p>					
24	○利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	6	5	2			<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○看護師から説明されているが全ての方から理解を得られているとは言えない。</p> <p>○簡易的な処置の場合、説明し看護師などに報告している。</p> <p>○看護師よりご利用者様・ご家族様にな</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>かりやすく説明している。</p> <p>○契約時にこれからの医療支援・介護支援の方針について説明されている。</p> <p>○看護師が常駐しており、処置・医療機器の取り扱い法については手技獲得できるまでフォローしている。</p> <p>○トロミ剤や栄養補助食品、食事形態について説明や助言を実施している。</p> <p>○看護職が説明・指導している。</p> <p>○看護師等が必要に応じて指導を行っている。</p> <p>○家族の希望や意向を把握しサービスの提供に反映している。</p> <p>○吸引器の使い方や褥瘡の予防方法では説明している。</p> <p>無回答 4</p>					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	9	6		1		<p>✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>○ご家族様とも連絡を密にとりサービス内容の変更に適宜対応するようにしている。</p> <p>○ご家族様の意見をしっかりと取り入れ</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>られていると思う。</p> <p>○都度ご家族様から希望があった時はサービス変更している。</p> <p>○CMより希望を聞き取りサービス提供に反映している。</p> <p>○ご本人様の言いたいことをくみ取り支援できるよう声かけに工夫している。</p> <p>○状態の変化に応じ、その都度本人・ご家族様の意向を再確認している。</p> <p>○まずは本人の意向を確認している。</p> <p>在宅療養となれば家族の意向も重要になるのできちんと聞き取りしている。</p> <p>○まずは本人やご家族様の意向を踏まえ、看取り期に入った時点で主治医に報告、看取り期と宣告されたら同意書も頂いている。</p> <p>○本人やご家族様と相談・共有されている。</p> <p>○利用者をモニタリングし、どのようなサービスが必要か把握できるようにしている。</p> <p>無回答 2</p>					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検	1	10	3	2		✓ 「将来に発生し得る様々なリス

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	<p>討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている</p>	<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○在宅生活が困難になると予測できる状況になれば施設入所や入院の提案を行っている。</p> <p>○看護師・介護職で共有出来ているものの反映されているかはわからない。</p> <p>○管理者・看護師・CMと連携をとりながら方針等対応している。</p> <p>○自分自身はあまり出来ていない。</p> <p>○ご家族様やご利用様との話し合いで皆が納得する方針を提示する等共有出来ている。</p> <p>○在宅生活が難しくなった場合、何度も話し合いを行い、出来るだけ本人・ご家族様の希望に沿うかたちで移行できる。</p> <p>○終末期ケアについて丁寧な説明を行っており、記録に残している。</p> <p>○退院後、在宅での介護をやってみないとわからないという状況が多いので出来ていない。</p> <p>無回答 3</p>					<p>クを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	<u>9</u>	<u>2</u>	<u>4</u>	<u>1</u>		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○主治医の定期的な訪問診療で情報共有されている。支援経過に記録されている。</p> <p>○管理者・看護師から終末期において丁寧にご家族様に説明し支援経過に残している。</p> <p>○ご本人の話は聞き記録に残しているが説明まではできない。</p> <p>○主治医から看取り期になっていると意見を得た段階で看取りの同意書を作成し説明同意を得ている。</p> <p>○看護師も関わり、看取りのパンフレットを用いながら関わり、毎回記録に残している。</p> <p>○急な体調変化もあるので説明ができない事のほうが多い。</p> <p>無回答 1</p>					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	8	5	3		<p>病院との連携が難しいことがよく分かった。 医療と介護の視点の違い。在宅支援目線が病院では難しい。</p>	<p>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</p>
	② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有						
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主	7	5	3	2		<p>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	<p>治医等と相談・共有することができている</p>	<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○主治医への相談や共有ができ、迅速な対応ができていると思う。</p> <p>○緊急時対応等、主治医と相談しメール（MC S）電話で共有している。そういう取り決めが構築で来ている。</p> <p>○緊急時の対応は理解している。が主治医が正しいかはわからない。</p> <p>○契約時や状態変化したとき等、緊急時対応についてその都度説明している。主治医とは初回利用時に必ず確認している。</p> <p>○利用者の状態変化等、緊急時、主治医と相談・共有されている。</p>					<p>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</p>
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	<p>○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている</p>	8	7	1	1		<p>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○休日・夜間に関してはすべての病院が受け入れできるわけではない。</p> <p>○表記されているが急変時の対応が個別で理解できていない。</p> <p>○急変時は看護師に連絡しすぐに指示・対応してもらっている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>○急変時はオンコール（看護師）に連絡している。</p> <p>○24 時間看護師対応の体制ができている。</p> <p>○バックベッドのない方については対応に時間がかかることもあるが、主治医との連絡体制は確立できている。</p> <p>○急変時に対応できるよう体制が構築されている。</p> <p>○夜間でも訪問看護を通じて医療機関と連携が取れる。</p> <p>○急変時の対応は看護師に報告することで担当医師に繋がるようになっている。</p>					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	6	5	6		<p>見る習慣をつける必要がある。</p> <p>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や</p>	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○参加しているからわかっているが、全職員が理解しているかといわれると出来ていないスタッフも多い。</p> <p>○2 か月に 1 回、地域の方々やご利用者様の担当包括支援センターの方、調整できればご家族様に参加して頂き意見を頂</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>き反映している。</p> <p>○地域住民や事業所周辺の民間機関や店舗等への協力支援も得ている。</p> <p>○看護師や介護職員も参加している。</p> <p>○2 か月に 1 回会議を行い情報共有できている。会議以外でもかかわりを持てれば尚良いと思う。</p> <p>○必要に応じて情報提供や提案が行われている。</p> <p>○誰でも見れるようにはされている。</p>					町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	3	5	6	1	見る習慣をつける必要がある。	✓ 「誰でも見ることができる方法 での情報発信」と「迅速な情報発 信」の2つの視点から、充足度を 評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○参加している管理者から情報発信しているが周知されていない。</p> <p>○情報発信されているが記録は見たことがない。</p> <p>○記録に目を通すようにしている。</p> <p>○部会や申し送り時に情報共有している。</p> <p>○議事録はあると思うが誰でも見ること</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>ができるような方法とはなっていない。 ○記録はあるがすぐにみられる状態ではない。 ○記録を書面に残していたこともある。 無回答 3</p>					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	4	9	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○チラシ配布の準備があり活動は行っている。地域住民向けの啓発活動においても他施設との合同啓発の場があった。</p> <p>○地域住民に向け、パンフレット配布している。</p> <p>○チラシ配布や『看多機とは?』の寸劇で理解を得られるよう活動している。</p> <p>○営業や他施設での演説があった。</p> <p>○地域の方対象にチラシ配布予定。</p> <p>○地域とのかかわりは少ないように思う。</p> <p>○管理者等、地域の防災訓練に参加して啓発活動をされている。</p> <p>○事業所主体ではなく法人として積極的に行っている。</p>					
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	5	2		2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	10	6		1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>がある。</p> <p>○出来ていると思う。</p> <p>○喀痰吸引等の資格を持つ介護職員が多数おり受け入れ態勢が整っており積極的に受け入れている。</p> <p>○喀痰吸引等の資格取得のための研修に参加した。</p> <p>○研修に参加し痰吸引を行えている。</p> <p>○全スタッフが資格取得できるよう研修等あれば計画的に順次スタッフに取得してもらおうよう努めている。</p> <p>○積極的な受け入れをしている。</p> <p>○介護職員の 2/3 が痰吸引の資格を持っている。</p>					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	4	1	4	5		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○受け入れ体制が整っていない。</p> <p>○夜間、介護職1名ということもあり受け入れはかなり厳しい。</p> <p>○気管カニューレの方が2名ある。</p> <p>○人口呼吸器となると吸引の際に接続を外す必要があるが、介護職が人工呼吸器を触ることができないため受け入れは難</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		しい。 ○現状、対象者はいない。 ○受け入れることができる体制が整っていない。 ○受け入れたことはない。 無回答 3					
37	○「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	13	1		1	毎月看取り支援ができるのは看多機の強み。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ○利用継続の中で看取りになるケースだけでなく看取り目的で受け入れも積極的に出来ている。 ○看護師や主治医との連携のもと、積極的に受け入れ体制ができている。 ○看取り体制は整っており受け容れている。 ○現在も看取りのご利用者様の利用がある。 ○最期を迎える場所として看多機を選択される方もいる。 ○24 時間体制で医療・介護で支援できる状態に整っている。 無回答 2					
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	5	6	2	<p>普段、自分たちがしている介護の仕事が包括ケアシステムに繋がっていることに結びついていない。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> ○計画の内容までは確認できていない。 ○していない。勉強不足だと思っている。 ○見ることはできるが見ていない。 ○管理者から都度伝達はあるが、計画や方針等の把握は個人的にはあまり出来ていない。 ○すべての職員が理解できているとは言えない。 ○管理者および職員の一部は内容について理解している。 ○職員全員までは理解していない。 無回答 3</p>	<p>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</p>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	8	6		1	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> ○提供エリア内であれば遠方でも受け入れている。 ○看多機を希望されれば広い範囲で受け入</p> <p>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくこと</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		れる機能は持ち合わせている。 ○多方面にわたりサービス提供している。 ○色んな地域に送迎している。 ○特定の集合住宅に限定ということは全くない。 ○限定することなくサービスと提供している。 無回答 2					が期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	2	4	4	2	ケアマネジメント向上会議には順次職員も参加できたことを確認できた。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ○地域の関係者と直接かかわることが少ない。 ○出来ているのかわからない。 ○問い合わせ等には丁寧に答えるようにしている。 ○看多機の課題は看多機連絡協議会で提案している。(福祉用具を限度額外で算定、生涯サービスとの併用等) ○法人の地域サービス等で行っている。 無回答 5					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	2	8	2	2	<p>独居の方のゴミ出しで困っている件に対し、ふれあい収集はできないのか？と意見頂く。ふれあい収集は65歳以上の要支援1以上でヘルパーを使っている方対象で利用できるもので、一度相談してみては？</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

[具体的な状況・取組内容]

○協力の得られる近隣住民には具体的に支援策を説明等行えている。

○医療生協の各支部の組合員の方々の働きや取り組みが充実している。

○時々講演会や民生委員の力をお借りして介護力を引き出す呼びかけを行っている。

○必ずフォローできる体制を整えるようにしている。

○近隣住民にも必要に応じて協力してもらっている。

○近隣住民等に対しての取り組みは行われていない、

○家族に対して介護や医療的ケアの指導を行っている。

○近所の方に力を借りられるように関係を作れている。

無回答 3

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (4)</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (6)</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている (2)</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない (1)</p> <p>無回答 4</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○可能な目標設定となっている、100%は難しいかもしれないがおよそで来ている。</p> <p>○急変があり達成できていないことがあるがある程度はできている。</p> <p>○利用者に合わせた柔軟な対応ができている。</p> <p>○退院日からの回復が顕著なご利用者様がいらっしゃるということは計画目標達成がされていることかと思う。</p> <p>○状態変化に応じて目標の変更もしている。</p>		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (7)</p> <p>2. 利用者の 2/3 くらいについて、達成されている (6)</p> <p>3. 利用者の 1/3 くらいについて、達成されている (1)</p> <p>4. 利用者の 1/3 には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○訪問診療・訪看・リハ・ヘルパー等の利用が計画通りに実施されることをご利用者様・ご家族様も安心して支援を受け在宅生活に繋がれると思う。</p> <p>○状態変化や急変時等 24 時間連絡体制があり対応している。</p> <p>○本人とご家族様も意向が違ったり、利用を増やしてほしいという話や別の要望等もあり全てとはいかない。</p> <p>○出来ていると思う。</p> <p>○長期でご利用されている方もおられ安心感はあると思う。</p> <p>○不安なことや困ったことがあればその都度聞き出し対応している。</p> <p>○医療が必要な方が多いのでどうしても不安になったりすることはある。</p> <p>無回答 3</p>		<p>✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (8)</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (1)</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている (1)</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p>無回答 7</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○自宅となるか看多機となるか状態によって異なるが、本人やご家族様の意向を尊重し安心して過ごせるよう説明し、緊急時対応もできるよ体制作りができています。</p> <p>○ご利用者様やご家族様が安心して過ごしていただけるよう情報共有している。</p> <p>○自宅での看取りも多く、ご家族様からはよかったとの声を多く聞く。</p> <p>○24 時間連絡体制があり細やかな対応で安心を提供できている。</p> <p>○24 時間対応で看護師が緊急時にも訪問しいち早い対応ができる。主治医との連携により在宅でもご家族様を支えられている。</p> <p>○看多機・自宅ともに看取りされた家族</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<p>様からの満足度は高い。</p> <p>○在宅での看取りの希望や提供がされているが、数字での達成率はわからない。</p> <p>○在宅で最期を迎えたい方でも介護の不安からか施設で迎える方の割合が高いと思う。</p>		